

一般質問



あだち はつお
定立 初雄 議員

問 常時相談できる体制の構築を

答 専門委員会の意見を聴き検討

問 町長は、安全安心なまちづくり政策として「24時間安心消防本部テラス化」を新しい政策として掲げ、今年度予算化された。具体的内容を問う。

答 進捗状況は。専門委員会委員は委託済み。構想構築業務を委託する業者の選定を進めている。

問 事業の意義と構想は。
答 (総務部長) 町民の防災意識を習慣化させ、災害発生時に迅速に情報収集を行う。

問 専門委員会のメンバーは。
答 防災・減災のスペシャリストの委員3人と顧問1人で構成。
問 名古屋大学に派遣している防災・減災のための先端的な教材の取得、カリキュラムの作成など。

問 町民が、常時、なんでも相談できる体制の構築を。
答 (町長) 専門委員会の意見を聴き検討し、基本的な考えを確立してから今後の展開にあたる。

問 町民が、常時、なんでも相談できる体制の構築を。
答 町長 子育て施策の推進を図る必要もあり、他市町村の動向も踏まえて前向きに検討する。



消防署内に設置されたテラス準備室

問 特定不妊治療の助成制度導入を 答 他の動向を踏まえ 前向きに検討

幸田町の人口は、現在、転入により増加しているが、自前で、増加し維持できる

問 町民が、常時、なんでも相談できる体制の構築を。
答 町長 子育て施策の推進を図る必要もあり、他市町村の動向も踏まえて前向きに検討する。

問 町民が、常時、なんでも相談できる体制の構築を。
答 町長 子育て施策の推進を図る必要もあり、他市町村の動向も踏まえて前向きに検討する。

一般質問



まるやま ちよこ 議員

問 学校プール運営基本構想の目的

答 学校プールのあり方を判断する



昭和43年に設置されたプール（豊坂小学校）

問 小中学校のプールは、昭和40年代以降に建設され老朽化が進んでおり、今後学校プールをどうしていくのか「学校プール運営基本構想」を策定する計画である。学校プールの廃止などもあり、目的を問う。

答 学校プールの現状と耐用年数は、ほとんどのプールが、耐用年数の30年を経過し、漏水や、機

器設備の不具合対応に追われている。

問 学校プールの果たす役割とプール設置の意義。

答 児童生徒の体力の向上と、水の事故、危険防止の心得を学ぶ。

問 水泳指導など教育的観点。

答 小中学校とも11時間程度。学習指導要領に基づき取り入れている。目標は定められていない。

高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちは住民の願いである。

しかし、町内3カ所の特養ホームは待機者が増えており、なかなか入所できない。第8期介護保険事業計画に地域密着型特養ホームの建設を盛り込み、整備す

問 地域密着型特養ホームの増設を

答 住民のニーズを踏まえ検討する

問 保護者や子どもたちなどのアンケートやパブリックコメントの実施を。現段階では、実施する考えはない。

問 学校プール運営基本構想の目的は。

答 学校プールのあり方として、すべて廃止とか修繕ではなく、場所に応じ一番適しているのを総合的に判断する。

る考えを問う。

問 待機者数は。

答 [健康福祉部長] 特養における待機者数は、4月1日現在で219人。

問 介護保険の適切な実施のため必要なサービス量はどうか。

答 通所介護や施設サービスが伸びている。

問 地域密着型特養ホームは幸田町の住民に入居が限定されるメリットがある。

答 サービスの必要性、事業者の考え方を踏まえながら検討したい。

問 地域密着型特養ホームの増設を。

答 住民のニーズを踏まえ、第8期の計画を検討する。

その他の質問

問 総合事業の充実と体制づくりを

答 体制強化に努めていきたい